

『不織布マスクを装着することによる酸素化への影響調査』

《対象者》

2020年1月1日～2021年12月31日の間に長浜赤十字病院において全身麻酔下に手術を受けた患者。

【調査協力をお願い】

当院では2020年1月1日～2021年12月31日の間に全身麻酔で手術を受けた対象患者さんについて、以下のとおり調査を行います。この調査は対象患者さんの臨床情報を調査する研究で、患者さん個人から直接の同意はいただきず、調査実施に関するポスター、インターネットへの掲示によるお知らせを持って研究に同意をいただいたものとしします。皆さま方におかれましては、本研究・調査の主旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本研究・調査への参加を希望されない場合や研究調査に関するご質問等は下記の問い合わせ先までご連絡をお願い申し上げます。

(1) 調査の概要

研究の題名 : 不織布マスクを装着することによる酸素化への影響調査

対象 : 全身麻酔下に手術を受け、酸素投与をして帰室した患者さん

情報収集期間 : 2019年1月1日～2021年12月31日

研究期間 : 承認日 ～2022年3月

研究責任者 : 麻酔科 藤井雅士

(2) 調査の意義・目的

COVID-19の世界的流行により、不織布マスクによる飛沫感染予防策が以前より重要視されています。全身麻酔による手術後は分泌物は増加傾向であり、咳嗽も発生しやすくなります。そのため飛沫感染予防のためにも全身麻酔下の手術終了後、手術室から病棟への移動中もマスクを装着することが望ましいと考えられます。しかし、不織布マスクをつけることで、酸素化の悪化や二酸化炭素の貯留が懸念されますがその影響を調べた報告は見当たりませんので調査したいと考えております。

(3) 調査の方法

診療録の閲覧をして、身体状況、検査結果に関する情報を集め統計処理します。これらは通常診療で必要とされる情報であり、また調査が治療に影響を与えることはありません。

(4) 利益・不利益に関して

協力いただいた場合の利益や拒否された場合の不利益などは一切ありません。

(5) 個人情報保護について

本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。

2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。

3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了後10年間保存した後に完全に抹消します。

4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

(6) 調査結果報告について

学会や論文で報告予定です。

(7) その他

(8) 問い合わせ等連絡先

- ・長浜赤十字病院 麻酔科 藤井雅士
住所： 〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町 14 番 7 号
電話： 0749-63-2111 FAX： 0749-63-2119